

みちしるべ地域生活支援事業 令和3年度 事業報告

(1) 取り組んだ事業

視覚障害者生活訓練

- ・岡山県、岡山市ならびに倉敷市の地域生活支援事業

(2) 実施体制

- ・管理者…………… 1名（相談支援事業管理者・岡星寮長兼務）
- ・生活訓練専門員…… 2名（専任）
- ・事務員…………… 1名（兼務）

(3) 訓練状況

◇岡山県

歩行訓練…………… 8名（71回）
点字訓練…………… 1名（1回）
パソコンその他IT訓練…… 9名（56回）
ADL訓練…………… 3名（22回）
※初回面談 8回
合計 158回

◇岡山市

29名の利用
継続 19名 / 新規 9名（再訓練含む）： 終了 20名
訓練回数 346回
例年通り、上限訓練回数をはるかに超えるニーズがあった。

◇倉敷市

13名の利用
継続 10名 / 新規 3名（再訓練含む）： 終了 6名
訓練回数 228回
新型コロナの影響で施設入所者へは建物への入室制限などあり中断や屋外での対応となった。

(4) 概要

訓練項目としては、歩行訓練は継続的にニーズがある。パソコンのニーズよりタブレット端末やスマートフォンのニーズが高まっている。

紹介元は、岡大眼科をはじめ地域の眼科、相談支援事業所、役所や盲学校との連携も進んでいる。特に盲学校の歩行指導に関わったことで卒業後の進路に向けてなどスムーズに訓練へ導入できた。

新型コロナの影響で施設への訪問訓練や、岡大ロービジョン外来でのアウトリーチ支援ができなかった。

広報活動としては、視覚障害者センター便りへの掲載や、新聞やラジオ等出演などを行った。福祉サービスの相談や調整などの訓練前の相談が多かった。

新型コロナの影響により1年延期となった第29回視覚障害リハビリテーション研究発表大会を、Web形式にて関係機関と連携して開催した（全国より医療・教育・福祉等関係者540人の参加があった）。